

対象国の条件 :主に中央アジア

研修コース番号 :J1804407

案件番号 :1884480

主分野課題 :教育/高等教育

副分野課題 :

使用言語 :露語

案件概要

日本は1960年代の高度成長期に、政府が理工系人材養成計画のもとに大学の新增設を支援し、また複数の製造業を中心とした業界関係者や団体が大学設立に寄与したように、工学教育は国の産業形成や経済成長に不可欠な要素であり、産官学で積極的に取り組んできた。本研修では、中央アジアの工学系大学の教員等を対象に、日本の実践的な工学教育の概要、高等専門学校及び工学系大学の教授法・カリキュラム・シラバス、産官学の連携の現状等に関する研修を行い、中央アジア諸国における高度産業人材育成の強化に貢献する。

目標/成果		対象組織/人材	
<p>【案件目標】 中央アジアの高等専門学校及び工学系大学の教職員、高等教育/工学教育を管轄する省庁担当者が、日本型の実践的な工学教育の概要、教授法・カリキュラム、さらには産官学連携の状況を習得し、当該国の高度産業人材育成に向けた活動提案がなされる。</p> <p>【成果】 1. 自国の高度産業人材育成、工学教育に係る現状と課題が整理される。 2. 日本の高度産業人材育成に係る施策、実践的な日本型工学教育の概要（制度）について理解する。 3. 日本の高等専門学校、工学系大学の教授法、カリキュラム、評価方法、質保証について理解する。 4. 日本の高度産業人材育成に向けた産官学連携の取り組みを理解する。 5. 自国の高度産業人材育成のための工学教育改善に向けた提案がなされる。</p>		<p>【対象組織】 1. 中央アジアの高等教育/工学教育を管轄する省庁 2. 中央アジアの工学系大学、高等専門学校</p> <p>【対象人材】 以下のいずれかで、職務経験が10年以上、現在の所属先に3年以上在籍している者 1. 中央アジアの工学系大学、高等専門学校の教員(学科長クラス)、幹部職員 2. 中央アジアの高等教育/工学教育を管轄する省庁の担当者</p>	
内 容			
<p>1-1 カントリーレポート発表、他国の研修員との意見交換 1-2 課題分析 (PCM) 2-1 講義：日本の高度産業人材育成に係る施策（文部科学省、経済産業省） 2-2 講義：日本型工学教育の概要（文部科学省、豊橋技術科学大学、高専機構） 3-1 講義：高等専門学校及び工学系大学の教授法、カリキュラム、評価方法、質保証 3-2 視察：高等専門学校及び工学系大学の授業視察 4-1 講義、視察：産官学連携の取組み（企業、自治体） 5-1 インタビュレポート発表（活動計画案）</p>		<p>本邦研修期間</p> <p>2019/1/10～2019/1/31</p>	
		<p>担当課題部</p> <p>人間開発部</p>	
		<p>所管国内機関</p> <p>JICA中部</p>	
		<p>関係省庁</p> <p>文部科学省</p>	
		<p>実施年度</p> <p>2018～2020</p>	
<p>主要協力機関</p>	調整中		
<p>特記事項及びホームページ</p>			